

◆ 今週のコメント

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が9例(男性 4例(10歳未満 2例, 10歳代 1例, 30歳代 1例), 女性 5例(10歳未満 3例, 30歳代 1例, 50歳代 1例))あり, 型別はO145(VT1) 6例, O157(VT1) 3例です。本年の累積報告数は43例となっています。
詳細は下記ホームページをご覧ください。
○京都市感染症情報センターホームページ「腸管出血性大腸菌感染症発生状況」
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- マラリア(熱帯熱)の報告が1例(女性, 20歳代)あります。本年初めての報告です。推定感染地域は国外(ウガンダ)で, 推定感染経路は蚊からの感染です。過去5年間では, 平成20, 21年 なし, 平成22年 5例, 平成23年 1例, 平成24年 2例の報告があります。
- 手足口病の定点当たり報告数は, 4.02(165例)で, 前週 4.93(202例)より減少したものの, 第30週(7月22日～7月28日)以降, 9週連続で過去5年平均値を上回っています。今後の動向にご注意ください。

◆ 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.15(47例)で, 前週 0.68(28例)よりも増加しており, 過去5年平均値を大きく上回っています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類: 結核 3例(肺結核 3例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 なし)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 292例(肺結核 159例, その他結核 70例, 潜在性結核感染者 63例)うち喀痰塗抹陽性 97例】
- 三類: 腸管出血性大腸菌感染症 9例【1月以降の累積報告数 43例】
- 三類: 腸チフス 1例【1月以降の累積報告数 3例】(第37週追加分)
- 四類: マラリア 1例【1月以降の累積報告数 1例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0. 00	0
小児科 (降順5位まで)	① 手足口病	4. 02	165
	② 感染性胃腸炎	2. 32	95
	③ RSウイルス感染症	1. 15	47
	④ 水痘	0. 54	22
	⑤ ヘルパンギーナ	0. 44	18
眼科	流行性角結膜炎	0. 50	5

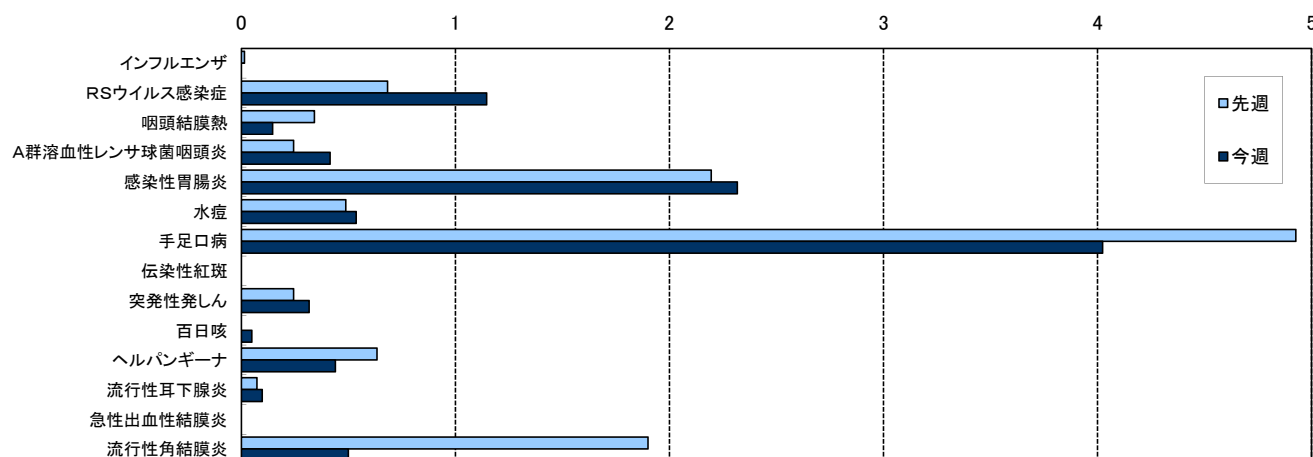
【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <RSウイルス感染症>

(注) 京都市のデータは, 平成25年9月26日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

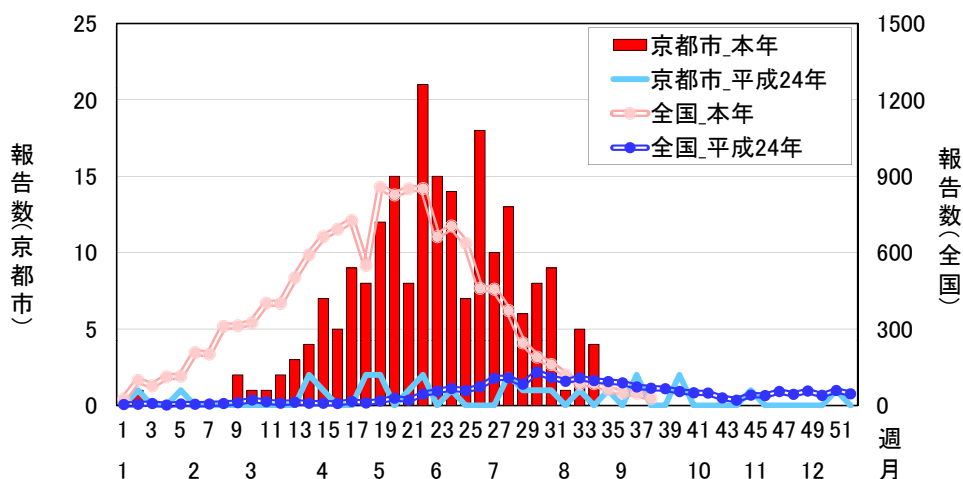
◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第38週)と先週(第37週)の定点当たり報告数の比較



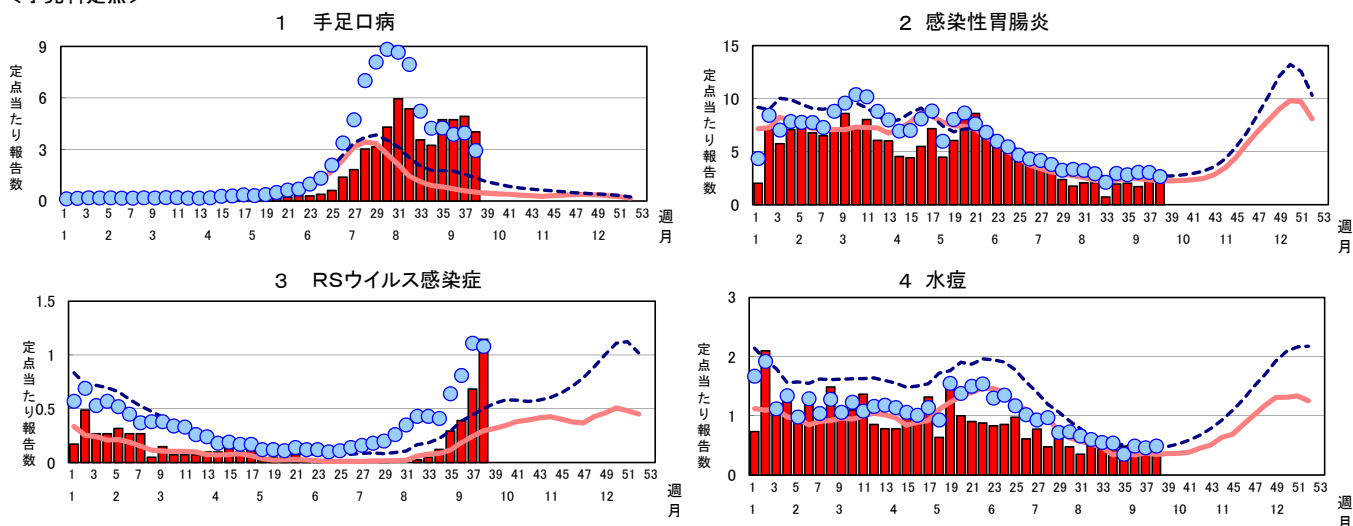
2 風しんの推移

今週の報告数(累積報告数) 平成25年9月26日現在	
京都市	0例 (209例)
京都府(京都市を除く)	0例 (111例)
近畿6府県	7例 (5196例)
全国	28例 (14077例)

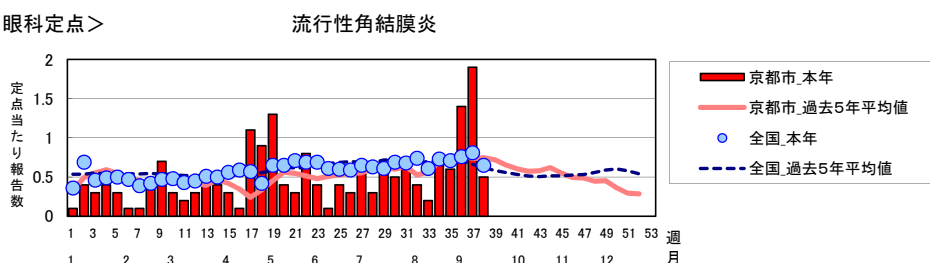


3 主な感染症の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



第38週(9月16日～9月22日)トピックス: <RSウイルス感染症>

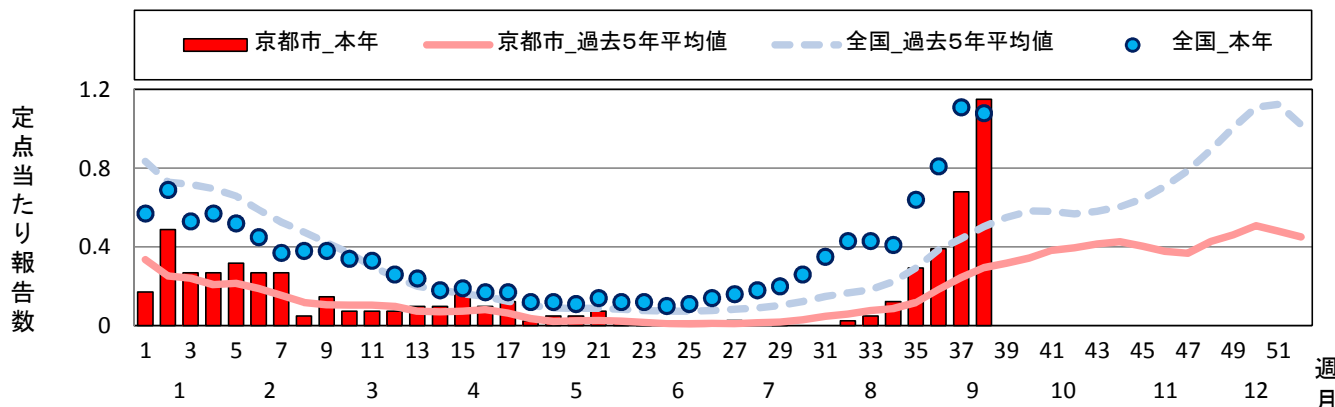
RSウイルス感染症の定点当たり報告数は1.15(47例)で、前週 0.68(28例)よりも増加しており、過去5年平均値を大きく上回っています。「感染症法」において定点把握対象に指定された平成16年以降の同時期と比較して、最も多い報告数となっています。

平成22年まで秋から冬にかけて流行していましたが、平成23年、平成24年と2年連続して夏頃から報告数が増加しており、本年も第32週(8月5日～8月11日)以降連続して増加しています。今後の動向に注意が必要です。

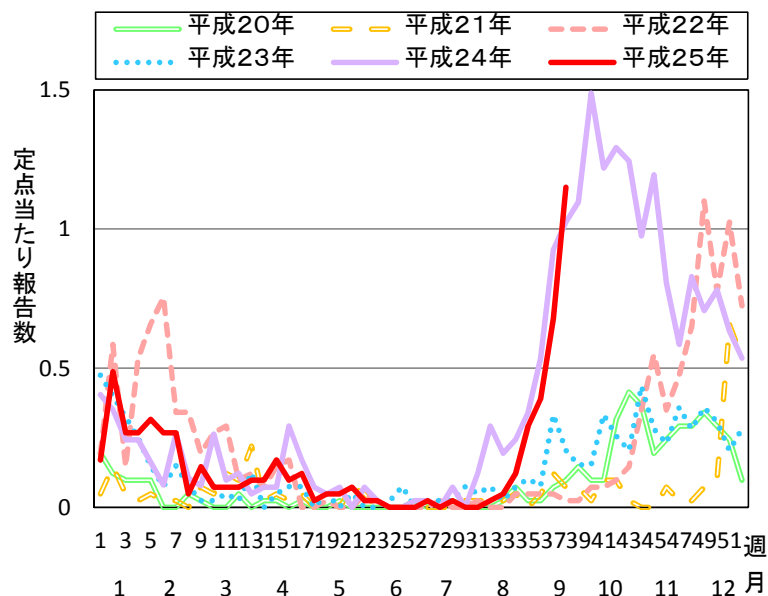
全国では、前週より減少したものの、過去5年平均値を上回る状態が続いています。また、近畿6府県(第36週～第38週)においては、滋賀県を除く5府県で定点当たり報告数が2週連続で増加しています。

年齢階級別では、1歳が20例(42.6%)と最も多く、次いで2歳 10例(21.3%)、0箇所～5箇所 8例(17.0%)となっており、0～2歳が89.4%を占めています。

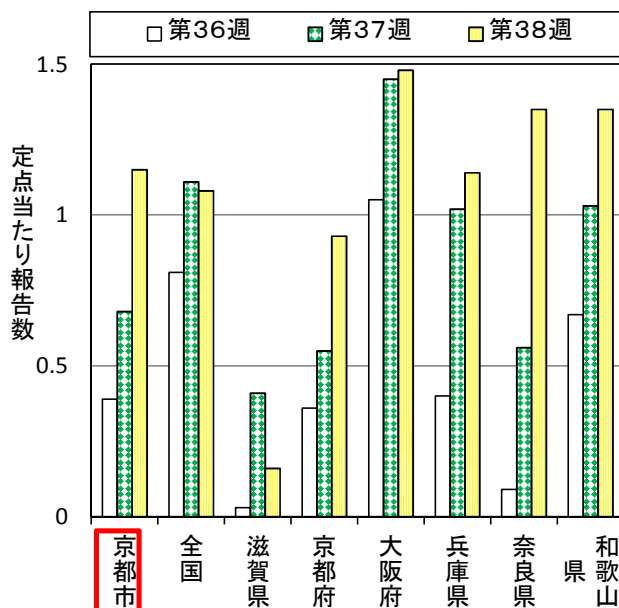
京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



京都市の定点当たり報告数の推移



京都市及び近畿6府県の定点当たり報告数の推移



京都市の年齢階級別割合の推移

